

訪問介護事業所ハートケア流山が千葉県介護コンテスト準優勝を受賞

2019年3月23日に千葉県介護福祉士会が主催する「平成30年度 千葉県介護コンテスト～ 栄冠を手にするのは 技術・声かけ・素敵な笑顔～」が行われました。このコンテストは千葉県内の介護福祉士等が介護の専門職として、介護技術及び要介護者をエンパワメントできるコミュニケーションスキルと素敵な笑顔を競い合うものでした。

訪問介護事業所ハートケア流山では、要介護4・5の利用者様が60%を超えるなど、重症度の利用者様の在宅生活を支える地域機能としての役割を果たしています。生きたい場所で生きて、行きたい場所に行けて、逝きたい場所で逝ける。そのような地域を創るために、スタッフは日々技術の研鑽に励んでいます。こうした努力の甲斐もあって、在宅での看取りをモチーフにしたスピーチでは、千葉県介護コンテストで準優勝という栄誉もいただきました。5月には市内にある別法人の訪問看護ステーションから身体介護技術の講習依頼があるなど、技術力を通じて地域の介護力の向上に貢献することで、愛し愛される施設という法人理念を推進していきます。

介護老人保健施設 ハートケア流山 訪問介護所長 雨澤 慎悟



新任看護科長研修 研修レポート

看護本部では、新任の部長・科長・係長・主任を対象とした研修を行っております。現在までに「新任看護部長研修、新任看護科長研修、新任看護係長研修、新任看護主任研修、新任介護係長研修、新任介護主任研修」の1回目の研修が一通り終わりました。

今回は、新任看護科長研修に参加された方の「研修について学んだこと」を一部ご紹介いたします。



研修会に参加して学んだこと

今回の研修では同じ新任の科長といろんな話ができ、悩みも含めて自分だけではないという気持ちと頑張ろうという気持ちになれたことも私の中では大きかった。普段あまり自分の悩みを誰かに相談する事がなく、自分の中で落としどころを決めて解決してしまう事が多いため、今回のように新任の科長同士で話し合うことで日々自分が思っている事や、苦手とすることを話すことができ、気持ちの整理ができたように感じる。

浅草病院 看護科長 山田 大代

「介護の技能実習生」進捗状況パート4 2期生の採用面接がスタート



プロジェクトが始動してから早いもので約1年が過ぎようとしています。この1年を振り返ると、初めてづくしの為、とても迷走の1年だったと感じています。異国の文化に驚いたり、外国との交渉の難しさを感じたりと、様々なことが思い出されます。

現状報告

1期生:日本語検定4級を取得した5名は、入国のための手続きに入りました。今年中にグループに配置となる予定です。いよいよですね。

2期生:先日の6月1日に採用面接へ行って来ました。昨年グループの皆様アンケートをお願いした結果を元に、採用目標数を定め、面接を実施して来ました。今回は、25名の応募の中から17名内定させて頂きました。合格した方に内定書を渡しながら握手をすると、緊張からか、手汗でびしょびしょ。緊張ですね。

いよいよ1期生の第1陣が入国します。受け入れ病院・施設と連携を深め、活動してまいります。また、その他の実習生に対しては、日本語検定4級取得を目標に支援していきます。2期生は、昨年の1期生同様に研修がスタートします。今後ともご支援よろしくお願い致します。